

火災ゼロ NEWS

コロナ禍の中、巣籠もり生活で電気の使用が増え、電気配線からの出火が増加しています。
今こそ自宅の電気配線の**再点検を!!**

安全で安心な暮らしをサポート！
火災予防に関する様々な情報をお届けします。

いざ! 防災

— 使える防災情報コラム —

『電気配線からの火災に注意』

電気配線からの火災は、季節を問わず発生しています。本組合管内で電気製品やコードから出火した火災は2020年中に9件、2021年は6月までに15件(前年比9件増加)発生しました。コロナ禍で自宅での電気製品の使用頻度の高まりにより火災が増加している傾向があります。身の回りの電気製品、電気配線を点検し、火災を未然に防ぎましょう。

■主な電気火災の内容■

- **過電流**(たこ足配線はやめて許容電流に注意！)

コンセントや延長コード(テーブルタップ)には定格容量(許容電流)が決まっています。

たこ足配線などにより、定格容量を超えて一度に多くの電気機器を使用し続けると、過電流が流れ、発熱して出火する恐れがあります。

電気機器の消費電力、コンセントや延長コードの許容電流を確認し、定格容量内で使用しましょう。

許容電流
1500ワット



- **接触部過熱**(コンセントのゆるみやプラグのぐらつきに注意!)
配線または電気機器の**接続部がゆるむ**と接触抵抗が増加して**発熱し出火**する恐れがあります。また、**プラグの差込みが不十分**の場合にも、プラグがはずれかけて接触面の電気抵抗が増加し発熱する恐れがあるので、プラグはしっかりとコンセントに差し込みましょう。



受刃に隙間が
できている状態



- **半断線**(コードのひっぱり、折れ、挟み込みに注意！)

コードや配線が**ひっぱられたり、折れたり、踏まれたり、挟まれたりすることにより**、配線の一部が切断状態(半断線)になり、残った部分に負荷がかかり**発熱し出火**する恐れがあります。



- **コードを束ねること等による過熱**(束ねたり、巻くと熱がたまるので注意！)
コードを**束ねたまま**や、じゅうた

ん等の下に敷いた状態で使用すると、コードの熱が**放散されず**なり**過熱して出火**する恐れがあります。

- **短絡(ショート)**(配線の劣化や傷に注意！)

電気コードの**配線が劣化したり、傷がつくことなどにより**、配線の両極が直接電氣的に結ばれてしまうと**短絡(ショート)**を起こして、**出火**する恐れがあります。

- **素人工事による出火**(電気工事は専門業者に任せましょう！)

素人配線工事は**絶対にやめ**ましょう。配線の接続不良などにより出火してしまう恐れがあります。

- **安全基準に適合した電気機器、コードを使用する。**
(PSEマークが目印)



各メーカーなども交換の目安を「3年から5年」としているほか、それより前でも「タップが熱い」「抜き差しが緩い」などの異常があれば交換を推奨しています。

コードはたばねて使わない 安全のために つど点検してください

コードは束ねて使用しない

製品の交換目安は3年～5年

製品の交換目安は3年～5年